

クローズアップ NGO・NPO

チーム大宮
代表 笠原 けい子

世界の人々の笑顔のために、大宮からスタートしよう

はじめに

みなさん、初めまして。チーム大宮代表の笠原けい子です。

2014年8月まで、老舗の国際協力NGOである認定NPO法人ブリッジエーシアジャパンで国内事業部長をしておりましたが、現在の地元さいたま市のチーム大宮にて団体を立ち上げる必要性が出て参りまして、思い切って独立した、という次第です。

事業の方が急進しているため法人化はまだ先となりますし、ホームページも現在立ち上げ中という段階ではありますが、今回、クレアさんにこの場で団体紹介の機会をいただき、大変感謝しております。

チーム大宮は、まさに地域づくりを実施する団体。どうぞよろしく願いいたします！

チーム大宮 設立経緯

10年前の2004年12月30日。関東では珍しい大雪の日でした。

私、代表の笠原は、男の子を3人抱え単身で、8年住んだロシアから帰国し、大宮に住み始めました。長男小学校6年生、次男3年生、三男は年少さんの年齢でした。

大宮区役所へ行ったところ、「このお母さんはすごく大変だから、すぐに対応して」と、自宅から一番近く設備も整っている大宮保育園にご紹介いただき、4月から三男がきりん組（年中クラス）に入れるよう手配してくださいました。

それから数か月後、ようやく派遣で国際協力の仕事に就いた私の手取り給与は1か月18万円。さいたま市の手厚いひとり親支援を受けることになりました。

あれから10年。これまで、さいたま市のみなさんが払ってくださっている税金で、子どもたちは保育園や学校に通い、給食を食べ、修学旅行に行くことができ、学用品を買い、あたたかい目で見守っていただけて育つことができました。

長男、次男はすでに大学生。しかし三男はまだ中2なので、これからもまだひとり親支援のお世話になります。

10年という節目の年を迎え、子どもたちを育ててくれた大宮へ何か恩返しをせずにはいられない、大宮をもっと住みやすくする活動をしたいと、そんな思いが強く、団体を立ち上げました。

今後、どんな状況の人も笑顔で暮らせる持続可能な社会の実現と、私が25年の間携わっている国際協力、国際交流活動を、大宮からスタートします。

チーム大宮の目指すもの

チーム大宮は、価値提供型の非営利団体です。以下の2本の柱を掲げています。

1. 持続可能な社会のしくみづくりを担います

昨今では、環境保護、資源の保護、文化財の保護継承、開発教育など、地球を大切にすることを持続していけるような社会のしくみづくりが提唱

されるようになっていきます。

チーム大宮では、以下のような体制をつくっていきます。

・チャリティーショップの開店、運営

神奈川県・東京都で56店舗を展開している特定非営利活動法人WE21ジャパンさんに情報提供などのご協力をいただいております。

途上国の難民帰還支援事業から生まれた裁縫製品なども取り扱っていく予定です。

・上記収益金を資金とし、ESD（持続可能な社会のしくみづくり）推進プロジェクトを実施
ESD推進プロジェクト案の例：

- 小・中・高校でのオーガニックコットン栽培を通じた持続可能性の教育、蚕の飼育を通じた持続可能性の教育 他
- 十日市、薪能などで知られる武蔵一宮氷川神社有形無形文化財の保護継承



武蔵一宮氷川神社

- ひとり親貧困対策のための大宮マイクロファイナンス設立実施

そのほか、チーム大宮では、以下のような持続可能性追求事業の推進を計画しています。

- ・専業主婦が活躍できる場の提供
- ・他市町村との積極的連携による持続可能性への取り組み

現在、墨田区のすみだ北斎美術館設立に関わっており、連携の可能性を探っています。

2. 国際理解、国際協力活動に積極的に取り組みます

- ・日本ミャンマー合作長編映画『Passage of Life』製作への協力

家族の絆とは。アイデンティティーとは。途上国と日本とは。グローバル化とは。見る人のさまざまな視点でそれぞれの発見と理解が得られるような映画づくりに実務協力しています。

11月で日本ロケが終了しました。現在ミャンマーロケが開始し、来年春の公開に向けて着々と撮影が進んでいます。



ミャンマー祭では、安倍昭恵さんに映画をご紹介いただきました

チーム大宮は、さいたま国際観光協会会員として市内の行事ボランティアや市内での外国人サポートを行っています。また、又ウサポーターズクラブメンバーとなって又ウを応援しています！



さいたま市
PRマスコット
つなが竜又ウ

みなさまの応援、どうぞよろしくお願いたします！